

通りハ訪問リハ



別府リハビリテーションセンター

すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現

08

2024.4

制作・発行
社会福祉法人
農協共済
別府リハビリテーション
センター
介護保険事業部
広報委員会



密着!仕事の達人第3弾
リハビリ効果の指標
ふれあい利用者事例紹介

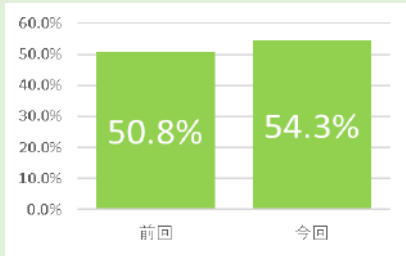
リハビリ効果の指標

通所リハビリ（ふれあい・あおぞら）・訪問リハビリの令和5年度下期分（令和6年3月末登録者）の評価をまとめました。前回測定値よりも、維持・向上した利用者の結果は次の通りです。

■ 通所リハビリ部門

握力

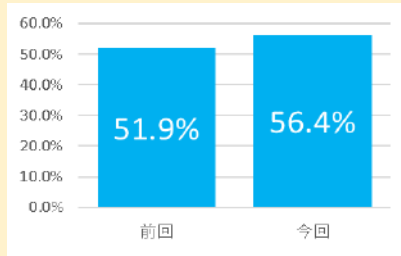
- 全身筋力の指標
- 体力の有無を確認する評価



ポイント

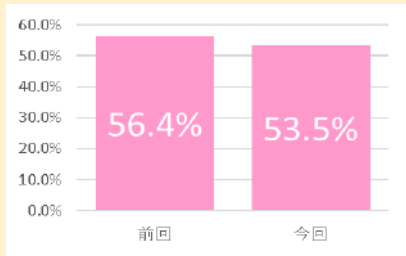
CS30

- 下肢筋力の指標
- 30秒間に行える起立回数を測定



TUG

- 歩行能力・バランス・敏捷性などを統合したテスト
- 転倒リスク・運動器の不安定性を評価



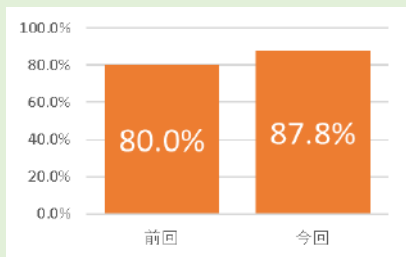
握力・CS30の項目において、前回測定時よりも維持・向上した方の割合が、増加しています。体力・下肢筋力の向上を示唆します。

新型コロナウイルス感染拡大の落ち着きとともに、通所リハビリを長期間欠席する方が少なくなりました。握力・CS30の結果は、通所リハビリでの運動量、また、ご自宅での活動量の増加が影響していると考えられます。これからも、通所リハビリやご家庭で運動に取り組めるようお手伝いしていきます。

■ 訪問リハビリ部門

LSA

生活範囲を寝室から町外までの5段階に分類。その範囲での移動の有無と頻度および自立度によって個人の活動量を得点化し評価



ポイント



今回、訪問リハビリ支援により約9割の方が「活動のひろがり」を維持・改善することができました。

「活動のひろがり」に不可欠な体力・筋力向上には、栄養バランスのよい食事を摂ることが重要です。訪問リハビリ支援の際に、低栄養になっていないか等も確認していきます。

密着！
仕事の
達人

訪問リハビリ 作業療法士の1日

第3弾

訪問リハビリで勤務する作業療法士の1日をご紹介します



今回、ご協力いただいたAさん

業務開始



1日の訪問
スケジュールを
確認します



利用者さん宅へ
体調確認の
連絡をおこないます

血圧など
体調確認を
おこないます



訪問先へ
出発



自宅から出発



屋外へ出て
目的地へ
向かいます



リハビリ後
体調確認を
おこないます



目的地へ到着
休憩を取りながら
談笑



安全運転で
別府リハへ
戻ります



今日の訪問をおこなった
全利用者さんの記録を
します



業務終了

ふれあい利用者事例紹介

当通所リハビリ（ふれあい）では、介護度が要介護1～5の方を対象に通所リハビリテーションサービスを提供しています。リハビリは、セラピストの評価に基づいて機器を使用した運動を中心に行っています。今回は、歩行器を使用しながら自宅生活を送っている80代女性の利用者様を紹介します。

T杖歩行や伝い歩きで家の中を安全に移動することが目標です。



ハードル跨ぎは、敷居などの段差を安全に越えることを目的に行っています。T杖歩行は、体力向上や歩行中のふらつき軽減を目的に行っています。

「利用中は自主的に出来る歩行練習もしています。まだまだこれからですが、家でも、より自由に歩けるよう頑張ります。」（本人）
 「利用当初はスタッフが歩行器歩行を見守っていましたが、現在は歩行器歩行が自立となりました。」（担当リハスタッフ）

「ふれあい」では、利用者様の身体状況や目標に合わせて屋外歩行練習も実施しています。



紹介から利用までの流れ

利用者を紹介したい

ケアマネジャー



受付窓口担当者

受入れ調整

介護度
送迎
利用曜日
入浴

ふれあい
あおぞら
訪問

各事業所へ相談を行い
受入れ準備をします

受付窓口担当者



ケアマネジャー

利用が始まります

受付窓口担当者：通所リハビリ部門 渡辺・伊藤 0977-67-1714（直）・訪問リハビリ部門 浅野 080-4752-4992（直）



『通所リハ・訪問リハ』の紹介動画などQRコードからご覧になれます

「訪問リハビリ同行編」と題した訪問リハビリ紹介動画を制作しました。別府リハビリテーションセンターホームページで観て頂くことができます。今回は、実際に訪問リハをおこなっている場面取材しています。この動画を観て頂ければ、具体的にイメージできる内容となっています。ぜひ、ご覧下さい。訪問リハ 浅野なるみ

いつも広報誌を読んで頂きありがとうございます。「活動のひろがり」についてデータ検証を行い、検証の結果、栄養状態の改善が重要であることが示されました。運動・栄養摂取・休息をバランスよく取り入れることで、リハビリの効果をより向上します。ぜひ参考にしてみてください。ぜひ、訪問リハ 山本隆人

編集後記